



THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA NAKANOSHIMA Y'S WOMEN

大阪なかのしまワイズウイメンズクラブ
"To acknowledge the duty that accompanies every right"
「強い義務感をもとう、義務はすべての権利に伴う」

C/O OSAKA YMCA, 1-5-6, Tosabori, Nishi-ku, Osaka 550-0012 Japan

MOTTOES (2013-2014)

国際主題：“Go Ye Into All The World” “全ての世界に出て行こう”
 アジア主題：“Start Future Now” “未来を始めよう、今すぐに”
 西日本区主題：“志を持って例会に参加し、学びの機会を持ちましょう”
 中西部主題：“ワイズの価値を見直そう”
 クラブ主題：“大人の女性を目指して共に歩もう”

第 200 号

2013年9月

聖書のことば

今日は生えていて明日は炉に投げ込まれる野の草
でさえ、神はこのように装ってくださる。
(マタイによる福音書6章30節)

選者 保田 圭子

8月例会報告

感性豊かなアートだ！

大岸 弘子

記録的な猛暑が続く中、8月例会はゲスト、ビジター、コメットの15名と、メンバー14名の計29名。塚中西部長の公式訪問、キャビネット、事業主査さんが出席下さり、多数のゲストをお迎えし、いつもより広い部屋で武井会長の初の開会点鐘で始まりました。

塚部長挨拶は「ワイズのよさを見直そう」に力を入れると熱弁されました。自己診断し、「なかのしまクラブ」の現状に思いをめぐらせました。

卓話は中井聰子さん
(障害者福祉サービス
事業所アトリエゆうハウ
ス代表) 「さをり織
との出会い、その活動」
のお話です。



まず障害者との出会い、そのつながりは、障害のある息子さんと支援学校に通っていた頃、ある先生の「ご自分のお子さんの悩み、問題を他の人の子供に向けてみては」の言葉に気づき、導きがあって教師となられました。

他の子供の幸せを願い経験を積み重ねて、無認可作業所を立ち上げられました。この頃、作業所では内職仕事が多く、子供達には苦痛、問題が起こっていました。何をすべきか考えている時に「さをり織」に出会い、美しさを発見され、これなら皆で織ることを楽しみながら、自由に表現し、伝え合う喜び、積極的働きが出来ると確信されました。個々の作品は感性豊かなアートであると話されました。

【次頁に続く】

9月第1例会プログラム

日時：2013年9月11（水）18:30～20:30
場所：ホテルグランヴィア大阪

司会 杉浦 真喜子

- | | |
|---------------------------------------|--------|
| 1. 開会点鐘 | 武井和子会長 |
| 2. ワイズソング | 一 同 |
| 3. 聖句朗読 | 保田 圭子 |
| 4. ゲスト、ビジター紹介 | 武井和子会長 |
| 5. 連絡・報告・ニュース | |
| 6. 食前感謝＆食事 | |
| 7. 卓話 「英語幼稚園について」
上床 敦さん（大阪YMCA職員） | |
| 8. お誕生日祝い | 一 同 |
| 9. ニコニコ献金 | ドライバー |
| 10. YMCAの歌 | 一 同 |
| 11. 閉会点鐘 | 武井和子会長 |

例会当番：(C班) 受付当番：(B班)

8月統計		
第1例会出席者数	例会出席率	BF 統計
メンバー 14名	出席者 14名	日本 115g 累計 2390g
ビジター 8名	メイキャップ 3名	外国 g 累計 348g
ゲスト 6名	合計 17名	現金 円 累計 円
コメット 1名	在籍者 17名	提供者：今井、国友、桑原、 杉浦、武井、藤好、 保田、渡辺
合計 29名	出席率 100%	

先生の城 みさを氏の願いから『さをり四つのねがい』。「キカイと人間の違いを考えよう」「思い切って冒険しよう」「キラーっと輝く目を持とう」「グループのみんなで学ぼう」。この四つを柱に開放的事業所の活動があり、その様子が例会会場のスクリーンに映し出された。その中では、武井美帆さんの織る音が聞こえてくるようでした。



色鮮やかな作品が並び、販売もあり、皆様の御協力が嬉しいとの声も聞き、私たちワイズならではの応援を続けたいと思う楽しい例会でした。

とさぼりサマーセミナーに参加して

武井 和子

7月21日（日）土佐堀YMCAで行われたサマーセミナーにボランティアとして参加しました。色々な講座がありますが、私は毎年“さおり織り”の講座を担当します。さおり織りは好評で、午前と午後の2回講座が開かれます。

1時間目は10：30～12：30の2時間の講座です。29人がそれぞれ30分ずつ自由に思うままに色とりどりに織ります。講師はアトリエゆうハウスのスタッフです。2時間目は13：30～15：30に25人が参加しました。親子での参加がほとんどで、幼児は織り機ペダルに足が届かず、ママの膝の上で織りママがペダルを踏む共同作業！



男の子は力強く、女の子はピンクの糸に原毛の糸を使ってモコモコした風合いを出して満足そうに、織り上げた布をお母さんに見せて、にっこり笑顔！

去年参加した女の子は、自信満々で織り機に向かって一生懸命でとても微笑ましくさをり織りの持つ不思議な魅力に惹きつけられます。今年も皆様に喜んで参加していただき、とてもうれしいです。

なかのしまの皆さんも一度参加して、さをりの魅力を感じませんか？

そうそう南京玉すだれと皿まわしの講座で、夢中の我がクラブのお二人は誰でしょうか？生雲さんと保田さんうまく出来ましたか？

とても楽しそうで、見ているだけでも元気がでましたよ。



中西部長公式訪問随行の記

国友 朝子

今期、私は中西部の地域奉仕・環境事業主査を務めることとなり、去る7月11日に大阪西クラブ、20日に大阪セントラルクラブ、8月に入りて14日にわが大阪なかのしまクラブの部長公式訪問に随行した。

大阪西クラブでは飴平さんの司会で、和やかな雰囲気のうちにゆるゆると進行した。無国籍のお料理はたっぷり出て、私のように食い意地の張った向きには満足満足だった。

大阪セントラルクラブは私にはお馴染みで、こちらのお弁当もいつも満足度が高いのである。

塚部長の主題は、ワイズの価値を見直そう：ワイズは何をするところ？「見える化」「わかる化」「活かす



化」である。つまり、外へ（一般社会へ）発信し、理解してもらう、その上でワイズの組織をより深く自分のものとして活動する。

これらの実践が中西部をより活性化し、次世代との交流にも繋がるとおっしゃっている。そのために今期はYSA・ユース事業とEMC事業により力を入れたいとのことである。訪問された各クラブで部長は熱弁をふるってこの3点を強調された。若い部長の下、細腕も頑張らなくちゃ！

点字にまつわるお話 <3>

渡辺 宏子

視覚障害者にとって盲導犬は、歩行移動のために大切な補助具です。犬を連れておられる方を見かけられましたら、お仕事中なので次のことはなさらないでください。

1. さわらない。
2. 話しかけない。
3. 食べ物をやらない。
4. 飼い犬を近づけない。

視覚障害者の方が盲導犬と一緒にさっさと歩いておられるのを見られると思います。よく犬が地図を覚えているなどと思われるでしょう。本当は地図を視覚障害者が覚えていて、犬に「ライト」「ストレート」「レフト」と言っているのです。

盲導犬は英語で命令を受けて働きます。盲導犬は危険なもの、危険な場所では立ち止まるように訓練を受けていますので、視覚障害者は安心して歩くことが出来ます。

私のお知り合いは、白杖を使って歩く時に比べて、安心感は人と歩く時の次に安心だと言います。でも、盲導犬と一緒に迷子になることもあります。なんだか迷っていらっしゃる感じがしたら声をかけてあげてください。「なにかお手伝いすることはありませんか?」でいいのです。

盲導犬が一人前になるには、たくさんの方の協力が必要です。子犬の時には、家族として大切に育つことが、将来、視覚障害者の家族として生きていくのに重要なことです。先日刑務所で育てられた犬が、盲導犬として…という記事を見ましたが、丁寧に育てられただろうと想像しています。この後、りっぱな盲導犬になって、視覚障害者のために働くようになることを祈っています。

次回は、視覚障害者の一般的なかかわり方について書かせていただきます。

◆ YMCA ニュース ◆

第245回 大阪YMCA早天祈祷会

日時：9月20日（金）午前7時30分～8時30分

場所：大阪YMCA会館 10階チャペル

証し：大上恭一さん（元大阪YMCAスタッフ）

ユースリーダー安全支援金ご協力のお願い

支援金受付：9月30日（月）まで

ユースボランティアリーダーの安全と研鑽のために用いてあります。ご協力を、どうぞよろしくお願ひいたします。

とさぼりサマーセミナーご報告

夏休みに開催いたしましたサマーセミナーは、約280名の参加者を迎えて楽しい1日となりました。また今年度は参加費200円をいただき、事業化に向けた試みのひとつを行うことができました。ご支援とご協力に感謝いたします。

今後の予定

10月14日（祝・月）チャリティーラン

11月3日（祝・日）とさぼりカーニバル

11月30日（土）大阪YMCA大会

シックな秋色に装いをかえた店々。日中は残暑ながら、夜には虫たちの声が季節がわりを知らせる9月です。残暑が去り、自然の風に涼を感じる日が早く訪れますように。

高橋京子

旧約聖書もおもしろい -3-

江見 淑子

＜ 竪琴の名手・ダビテ ＞

イスラエルの民がパレスチナ地方に定住するためには先住民との衝突が避けられません。牧畜から農業への転換があります。現地の宗教や祭りとの関係は死活問題でした。緩やかな部族連合や困難な時に現われるリーダーに頼るだけでは立ち行かなくなりました。

イスラエル宗教は人間による人間支配（王政）に反対でしたが、民はそれを望みました。預言者サムエルによって王となるしの儀式（密かに頭に油を注ぐ）が行われました。

イスラエル初代の王はサウル、ダビデは二代目です。美しく背の高いサウル王の様々な苦悩には胸が締め付けられるような長い物語があります。少年ダビデがサウル王に仕えながら、二代目の王になっていく物語も波瀾万丈です。背景を語ることに時間がかかりましたが、ダビデが王様になるまでの話を三つばかりピックアップしてみます。今日はその一つ目です。

クリスマスの讃美歌に「エッサイの根より生いいでたる」と歌い始める曲があります。イエス誕生はこのエッサイという人物に遡るという歌です。このドイツキャロル（15世紀の歌詞）には、静かで美しいメロディーがつけられています。皆さんも知らない内に聞いているのではないかと思います。

このエッサイというのはダビデの父親の名前です。エッサイの息子とサウル王が言うとき「身分が卑しく、権力のない者の子」という響きを持っていたようです。異母姉妹二人と八人兄弟の末っ子で、普段は羊の番をしていました。ダビデは「愛された者」という意味があるそうです。姿が美しく、音楽と詩の才に溢れた少年でした。初代の王は神の言葉を守らなかったので神の加護を失いました。悪霊にさいなまれるようになり、側近の勧めでダビデは「竪琴の名手」として王に仕えることになりました。密かに油を注がれたダビデが王位に就くまで、誠実で長い忍耐の物語が続きます。

8月第2例会報告抄

日 時 2013年8月21日（水）18:30～20:30

場 所 大阪YMCA 504号室

出席者 14名

- 1) 中西部評議会での継続審議事項「区大会実行委員会の活動準備金を各クラブより借り入れる件」について説明があり、我がクラブは、10万円を基本ファンドから支出することとした。
- 2) 交流事業主査より提案のあった「交流ポイント制」の実施方法について、第2例会時各自自己申告し、交流事業委員が集計していくこととした。
- 3) ミャンマーYMCA同盟マウンマウン・ワイン氏より要請のMonywaYMCAへの資金援助については、残念ながら希望に答えられない旨お断りすることとした。
- 4) 既に決定済みのミャンマーファンドとして今年度分10万円をミャンマーへ送金することとした、但し現在のところ、提示されたミャンマーYMCA同盟の銀行口座には直接送金出来ないことが分かったので、送金方法等検討することとした。

ニコニコ献金 8月 27,015 円

《ニコニコメッセージ》 -8月例会-

☆今日はお招き頂きありがとうございました。私のつたない話に耳をかたむけて頂き恐縮いたします。大阪なかのしまワイスメンズクラブのますますのご発展をお祈り申し上げます。（ゲストスピーカー：中井聰子）☆とても素晴らしいお話を聞かせていただきありがとうございました。貴重な体験をさせていただきました。

（ゲスト：江見美奈子）

☆二度目の参加ですが、とても楽しい時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

（ゲスト：小倉玲子）

☆中井聰子さんのお話とても良かったです。タテの糸とヨコの糸が人と人を繋ぎ、心を温めることに気付きました。（ゲスト：妹尾和江）

☆今日は素敵な会に参加させて頂きました。中井さんのスピーチ楽しみにしていました。

（ゲスト：野村清美）

☆久しぶりに華やかなクラブに出席できてうれしく思います。さをり織り、ステキな作品にも出会いました。有意義なひとときをありがとうございました。

（大阪セントラルクラブ：入江政江）

☆なかのしまクラブの華やかな例会に参加できて、ありがとうございます。ゲストが多く、クラブの勢いを感じました。

（交流事業主査・大阪セントラルクラブ：入江保夫）

☆今日は沢山のゲスト・ビジターで楽しい会に出席出来て感謝です。（東京クラブ：上原玉音）

☆本日はありがとうございました。活気のあるクラブで、うらやましく思いました。

（中西部会計・大阪茨木クラブ：掛谷太郎）

☆本日はありがとうございます。なかのしまクラブさんのパワーを感じました。一年間よろしくお願い致します。（中西部長・大阪茨木クラブ：塚理）

☆YSA・ユース主査として出席させていただきました。暑さを忘れることができました。

（YSA・ユース事業主査・

大阪センテニアルクラブ：三浦直之）

☆久しぶりの出席でした。部も区も大変な日々です。バテるひまもなく……。ま、やるしかないし、何とかなるでしょう！？

（中西部書記・大阪茨木クラブ：三牧勉）

☆いつもながら多くの“ゲスト”、華やかな“レディーズ”の中に身を置き、きもちも浮き上がっています。

“なかのしま”のこの活気が、他のワイスメンズクラブにも広がることを祈りつつ……今夜を楽しみたいです。（大阪センテニアルクラブ：山田孝彦）

☆中井さんのさをり織のモットーが自由な発想というお話を伺い感銘を受けました。これからも土佐堀サマーセミナーのご指導宜しくお願い致します。（生雲）

☆夏に弱い私。どうすれば少しでも……自分の事ばかり考えられがちですが、101歳の日野原先生は「自分の時間を誰かのために使えるような、そんな大人になって」と10歳位の君たちに語り続けておられます。少しは見習わないと！！（今井）

☆部長公式訪問を受けて去年の今頃を思い起こします。

家族その他に支えられて例会に出席できるということを改めて実感しています。（江見）

☆熱中症対策はいろいろなグッズがありますね。安眠ジェル枕を息子が買って来てくれました。ありがとうございました。でも、暑い！（大岸）

☆たくさんのゲスト、ビジターがお越しくださって本当にありがとうございます。大勢の例会は楽しい。私が曲がったおへそは大好きです！（国友）

☆みんながお休みで、少しヒマになったので映画「少年H」を見てきました。とってもおもしろかったです。（杉浦）

☆さをり織に出会い、その特性を活かして個性を育む長年の活動に共感しました。（高橋）

☆今夜は美帆の先生の卓話。中井聰子さんの弱い子供達への、思いが伝わりました。私も反省と、もっともっと愛情を注がなければ痛感しました。（武井）

☆なかのしまのみなさんに先生のお話をきいてもらえること、とてもうれしいです。（武井美帆）

☆人数が多い例会は活気が有って、やっぱり良いもんだな～！！メンバー候補のゲストさんもいらして本当に嬉しい例会でした。猛暑の中、ご出席下さってありがとうございました。（藤好）

☆毎日暑い日が続いているが、健康で過ごせることを感謝します。（松下）

☆昨日から孫がきて大忙しだすが（親なしで）暑くて暑くてどこにも連れていけません。40℃なんて、地球はどうなっているのでしょうか。（保田）

☆卓話者の中井聰子さんは日々並々ならぬご努力されている。今の自分はどうなのかと深く反省しました。（吉岡）

☆日本の夏ってこんなに暑かったのかしら？って毎年思いますが、今年は特にその思いが強いようです。中井聰子さまのお話は、バテている私の頭の中を通り過ぎた涼しい風。爽やかな気持ち良さとパワーを頂きました。さあ、秋に向かってバテてボケた頭をリフレッシュしなければ！（吉田）

☆久しぶりの例会出席にうれしく思っています。今年の暑さをのりきれば、どんなことでも出来る気がしています。（渡辺）

欠席者メッセージ

★毎日何度も救急車のピーポーピーポーが聞こえます。熱中症の方でしょうか。この異常な暑さが終わってからの秋口に体調を崩さないように注意しなければと、先のことが気にかかります。（桑原）

★久しぶりに甥の家族に会い、笑顔と元気、いっぱいもらいました。（藤井）

◇9月お誕生日の方◇ Happy Birthday

保田 圭子 2日 武井 和子 7日
鳥居 翠 8日 松下 広子 26日

編集後記

処暑をむかえてなにやら晩夏の趣き。昼間は相変わらずでも、夜ともなるとひそやかにカネタタキが鳴いています。さあ、元気に食欲の秋を迎えましょう。

